

2017 年度秋季研究報告大会 (in 大阪)

テーマ「持続可能性経営と企業業績・戦略 ～企業は持続可能性経営をどう展開すべきか～」

2017 年 11 月 19 日 (日) 13 : 00～17 : 00

大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス

(大阪市北区 1-1-3 大阪駅前第 3 ビル 19 階)

開催趣旨 :

ESG 投資やグリーンボンドが注目されているように、環境や社会に配慮し、持続可能な発展に貢献する企業経営 (持続可能性経営) に期待が高まっています。

例えば、国連の「持続可能な開発のためのアジェンダ 2030 (SDGs)」は、企業に対して社会課題のソリューションを企業のリスク対応と機会創出に結びつけるアウトサイドインを期待しています。

しかし、社会や環境のために企業が事業として取り組むことは企業の競争力に繋がるとする CSV の考え方がある一方、社会や環境は公共財であるため、企業業績とはトレードオフの関係にあるという考えを述べる方もいます。

この問題をどう理解するかは、CSR・ESG 経営を目指す企業にとって、極めて重要な課題ではないでしょうか？

本大会では、この問題について基調講演を基に討議します。

研究発表は上記にかかわらず、バリューチェーンでの IOT/AI 活用から、ESG 投資やグリーンボンド、その他 CSR・ESG 経営に関するあらゆる切り口での発表を期待します。

なお、発表を査読付き論文につなげられれば業績にもカウントされることにつながります。

以 上